

埼玉アーツシアター通信

SAITAMA
ARTS THEATER
PRESS
VOL.88

2020.8-9

新型コロナウイルス対策、
感染拡大防止に関するお願い

フランソワ・シェニョー

川口成彦

バツハ・コレギウム・ジャパン

彩の国シェイクスピア講座



稽古場は、翻訳者にとっても戯曲読解の発見の場です。発見へと導いてくれる筆頭は俳優。これまで幾人の役者さんにその扉を開いてもらったことか。

2010年上演の『ヘンリー六世』で忘れられないのは、大竹しのぶさんの示唆です。

しのぶさんの役はジャンヌ・ダルクと王妃マーガレット。そう、一方はイングランドの存立を外から脅かすフランス女性、もう一方はヘンリー六世の王妃となり、内側からその治世を危うくするフランス女性という大きな二役です。

シェイクスピアの創作歴の最初期に書かれた『ヘンリー六世』は三部作。上演すれば最低9時間はかかるという長大な英国史劇です。これを短くしようという蜷川さんの発案で、河合祥一郎さんが上演台本作りに当たりました。三部作を二部構成にするのだから、原戯曲を大幅にカットしなくてはなりません。「面白いところを失わずに、ギュッと引き締まった」ものにする、と河合さん。稽古が始まってからは、その目標を達成すべく、カットした箇所を戻したり、さらにカットを増やしたり、訳語を変えたり、と台本にも手を入れる。

ある日しのぶさんから「松岡さん、ちょっといい？」と声をかけられました。「ここカットしちゃダメなんじゃない？だって、この太鼓の音はジャンヌだけに聞こえるんでしょ？」えっ、ああ、そうか！

「ここ」とは第一部第三幕第三場、イングランド側に付いたバーガンディ公爵（手塚秀彰）に、フランス側に付くよう説得する場面の直前です。

ちょうどその日は河合さんも稽古場にいらしていたので、即すつとんで行き、しのぶさんの考えを伝えました。河合さんも「えっ、ああ、そうか」となり、「あの太鼓の音で分かるでしょう、イングランド軍がパリに向かって行進している。あそこに行くのはトールボット、彼の旗をなびかせ、イングランドの全軍を従えている。さあ、最後がバーガンディ公爵とその軍」は復活。その結果、周囲の人々がぼかんとする中で大竹ジャンヌはじっと耳を凝らしてこの台詞を言い、直後に登場する馬上のバーガンディ公に、翻意を促す。公爵はまるで催眠術にかかったような反応を示し、「この娘の言葉が俺に魔法をかけたのか」と呟いたあげく、彼の軍隊も戦力もフランスに捧げると言うのです。

「遠くで太鼓の音」というト書きは、1623年出版のシェイクスピア全集中の『ヘンリー六世』にもあるのですが、大竹しのぶさんの解釈は大いにアリ。ジャンヌの超能力発揮の印象的な場面になったのでした。



彩の国シェイクスピア・シリーズ第22弾「ヘンリー六世」(2010年) 撮影◎渡部孝弘

Kazuko Matsuoka

翻訳家。彩の国さいたま芸術劇場シェイクスピア企画委員会委員。翻訳家、演劇評論家。彩の国シェイクスピア・シリーズの翻訳を担当。ちくま文庫から「シェイクスピア全集」を刊行中。既刊は35作、6月「ジョン王」を刊行した。



「大塚直哉レクチャー・コンサート
オルガンとチェンバロで聴き比べるバッハの“平均律”」
2020年7月5日 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
Photo◎横田敦史

CONTENTS

- | | | | |
|----|--|----|---|
| 4 | 新型コロナウイルス対策、感染拡大防止に関するお願い | 12 | MUSIC > ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.40
川口成彦 フォルテピアノ・リサイタル |
| 6 | DANCE > ナタリア・オシボワ／メリル・タンカード
『Two Feet』 | 14 | MUSIC > バッハ・コレギウム・ジャパン
ベートーヴェン「運命」とハ長調ミサ曲 |
| 8 | DANCE > フランソワ・シェニョー&ニコ・レネ
Romances inciertos
～不確かなロマンス もう一人のオーランド～ | 16 | EVENT > 彩の国シェイクスピア講座 番外編
『リア王』勉強会&上映会 |
| 10 | MUSIC > クロノス・クアルテット ライヴ・ドキュメンタリー&パフォーマンス
「A THOUSAND THOUGHTS」 | 17 | イベントカレンダー／チケットインフォメーション／彩の国シネマスタジオ |
| | | 20 | COLUMN > 林家彦いちの「一歩外へ。」 |



彩の国さいたま芸術劇場が主催公演を再開しました！

新型コロナウイルス対策、 感染拡大防止に関するお願い

新型コロナウイルスの感染拡大により2月末以降の全公演が中止・延期となっていた彩の国さいたま芸術劇場で、7月5日、約4カ月ぶりに主催公演が再開されました。

再開第1弾は、『大塚直哉レクチャー・コンサート オルガンとチェンバロで聴き比べるバッハの“平均律”』。当日の様子をレポートしつつ、会場で取られた感染防止策、今後ご来場されるお客様へのお願いをまとめました。

Photo ●増森 健

入 場 前

- 必ずマスクを着用いただき、咳エチケットにご協力ください
- 開場時間を早めました。開演直前の混雑・集中を避けるため、時間に余裕を持ってご入場ください
- 社会的距離を守って列にお並びください
- 検温、体調管理のご協力をお願いいたします。検温時に37.5度以上の方は入場をお断りいたします
- 必要に応じて連絡先記入用紙のご提出をお願いします。保健所などの公的機関に提供する場合があります
- 半券の切り取りはお客様ご自身でお願いいたします。チケットはスタッフが目視で確認いたします
- 入口で手指の消毒をしてください



ホワイエでの過ごし方

- 配布物はロビー所定の場所からご自身でお持ちください
- お化粧室のご利用などを除き、出来るだけご自席にてお静かにお過ごしください
- 歓談はお控えください
- 会場内にある消毒液で、開場時、休憩時、終演後など、こまめな手指消毒・手洗いの実施をお願いいたします
- ブランケット貸し出し、クロークおよびビュッフェの営業は実施いたしません



客 席 へ

- 埼玉県および「全国公立文化施設協会」のガイドラインに沿った座席設定にしております
- 終演後の「ブラボー」などのお声がけはお控えください。拍手でお気持ちをお寄せいただければ幸いです



終 演 後

- 混雑を避けるため、社会的距離を意識し、後方のお席をご利用の方より順にゆっくりとお帰りください。お時間がかかる場合がございますのでご了承ください
- 出演者との面会およびプレゼントや花束などのお渡しもお控えください



このような症状のある方は、ご来場をお控えください



風邪症状

咳、鼻水、くしゃみ、喉の痛み……など



発熱症状

37.5度以上の発熱（37.5度以下でも、ご自身で少しでも異常を感じられる場合はご遠慮ください）



体調不良

だるさ、息苦しさなど



過去2週間以内に発熱や感冒症状で受診や服薬をした方



感染拡大地域や国への訪問歴が2週間以内にある方

この日、安全、適切な距離を取りながら、久々に生で鑑賞する音楽の楽しさをお客様に味わっていただきました。ビュッフェ営業がないので、必要な飲料水などはご自身でご持参。客席内で静かに水分補給をされ、「咳が出たために給を持ってきた」という方もいらっしゃいました。大ホールの化粧室も利用可能にし、普段長い列ができる廊下の混雑も、あっという間に解消。休憩時には、音楽ホールはエントランス前の広場に出られるので、外で過ごされる方もいらっしゃいました（戻の際に要チケット半券提示）。

お客様からは「ものものしい雰囲気を感じましたが感染症拡大防止のためにはしかたがないことと思います」「コロナになってからはじめてのコンサートに来ることができました」「今日の公演の開催にあたっては事前の対策準備等大変なご苦労があったと思いますが、配慮が行き届いており、安心して公演を楽しむことができました。正直なところ来べきかどうか悩みましたが来てよかったと思いました」「久しぶりに生の音楽を聴いてとても晴れやかな気持ちになりました」という温かいご意見が寄せられ、改めて皆様のご協力に感謝いたします。



Photo ●横田敦史



- 会場内は興行場法に基づき、内部の汚染空気の新換気設備を設けています。また、複数の人が触れる場所の定期的な消毒を行っております。
- 公演に関わるスタッフは、手洗い・手指消毒・健康チェックを徹底しております。異常がある場合は職務につくことはありません。
- ご高齢の方、基礎疾患をお持ちの方は、ご来場のご判断をより慎重にされることをお勧めします。
- 上記に該当するお客様がご来場をお取りやめになる場合には、チケットの払い戻しをいたします。営業広報課 TEL.048-858-5507（10:00～17:00）までご連絡ください

※財団ホームページでは財団の新型コロナウイルス感染拡大防止対策を公開しています。ご来場の際はご確認ください。今後の状況をふまえ、お願い内容を変更する可能性があります。予めご了承ください。

二つの足。踊り舞いの原点。足はバレエの原点である。

シドニーに住む夢多き17歳のメルル・タンカードは アントン・ドーリン著(1974)、20世紀初めに活躍した『眠れる舞姫』オリガ・スペシフツェワの伝記を読み、感動に震える。

その華々しくも波乱に満ちたキャリアに。その繊細な美しさに。その潔癖さに。その不条理に。

持って生まれた才能と美貌と、想像を絶する厳しい稽古と数々の長い船旅の巡業の果てに、精神に支障をきたし始めるのは1934年。参加したバレエ・リュスのオーストラリア巡業中のことであった。シド

ニー郊外の砂まみれの田舎道を彷徨うオリガが目撃される。

NYの精神病院に20余年隔離された後、96歳の人生を閉じるまで、収入源の無いオリガはトルストイ財団農場に引き取られ、平穏な余生を送った。

『彼女の狂気はバレエへの限りない執念、余りにもバレエを愛したが故。それは病気ではなく、ただ愛であった』とメルルは言う。

これが『Two Feet』の始まり。



次に。

1984年、ストックホルム。

ピナ・バウシュ・タンツテアター公演を生まれて初めて観た。『1980』と『コンタク

トホーフ』の2作上演。そのころマッツ・エック率いるクルベリ・バレエで踊っていた私は、ピナの作品を見て大いにショックを受けた。ことに『1980』の中のメルルは想像を絶するダンサーで、彼女の全てが私の脳裏に強烈に焼き付いた。が、私が同団に入団する数年前に、メルルはもう母国に帰国していて、我々はピナのところで一緒に踊ったことはない。

2017年にパリを訪れたメルルから突然連絡があり逢った時、一杯目のカフェを終える前にもう阿吽の呼吸で意気投合していた。ピナの宇宙にある特有の感触は「そこを通った我々」の人生観の根底に深々と根を下ろしているものらしい。

ストックホルム公演後、メルル・タンカー



『白鳥の湖』の衣裳でのオリガ。1934年シドニー Fox Studioにて撮影。オリガはこの前後、シドニーの田舎道を彷徨っていたことになる。
Photo © Sydney Fox Studio

ドは6年間のピナ・バウシュとのコラボレーションに終止符を打ちカンパニーメンバーとして輝かしい軌跡を残してヴッパータールからシドニーに帰郷する。

1988年、ブリスベン・エキスポ'88芸術祭の依頼を受け、長年メルルの脳裏を離れなかったオリガの生涯と自分自身が経験したバレエが求める「完璧」を目指す故に「崖っぷちに」身を置くバレエ・ダンサーの境遇とを織り合わせたソロ・パフォーマンスに思い至り、鋭い写真家であり夫のレジス・ランザックと共に何カ月にも渡る膨大な資料収集・創作を経て初演。スタンディング・オベーション。

1989年、当時スパイラルホールの芸術監督の天児牛大氏の招聘により『Two Feet』が東京で上演された後、オーストラリア、ヨーロッパでも喝采を博したが、自身のカンパニーの育成と創作に専念すべくメルルは舞台から遠ざかり、『Two Feet』は多くの要望にも関わらず、30年間上演されることはなかった。



そして。

オーストラリア・バレエ団の芸術監督を務めたマイナ・ギルグード女史から突然メルルに一通のメールが届く。「先日ロシアで、エイフマンのオリガの生涯を語った創作『赤いジゼル』を観たが、30年前に観て感動した貴女の『Two Feet』が忘れられず、是非再演するべきだと確信した」。メルルはマイナに心当たりのあるダンサーがいるかと尋ねると、「最近ロイヤル・バレエでナ

タリア・オシボワにコーチをしたが、彼女なら『Two Feet』をこなすだろう」と言う返答。

間もなくナタリアは躊躇なく承諾。私にもメルルから「このステージングのコラボレーション、芸術監督として私の側にいて欲しい」との誘いが来る。2カ月半のオーストラリア行きが決まった。

2019年元旦深夜、アデレード空港着。1月3日からリハーサル開始。

ナタリアとのリハーサルは濃く密で、しかしクリエイターとダンサー両サイドからの優しさと好奇心に満ちていた。

毎日のリハーサルは空港に降り立った時の、砂漠の乾いた暑い空気よりも熱かった。

全部で20のシークエンスからなる作品全体を俯瞰しながら作品をナタリアのために再構築していく日々は素晴らしい瞬間の連続であった。始めてから3週間少しで荒くではあるが、衣裳の早替えも含めたAからZまで立ち上げた。

この天才少女は、生まれ持った才能にあぐらをかかず、限りない練習量と汗と痛みを持って世界一のバレリーナたるゆえんを維持しているのだと恐れ入ったり感心したりの日日であった。



オリガとナタリア。

時代は変わり、流行は廃れ、また新たな「はやり」が台頭してもバレエ・ダンサーの「完璧」への執念と情熱は今も昔も同じ。爪先に滲む血の色も同じく紅く、背中を流れる汗も同じく熱い。

ジゼルはオリガの十八番であった。

そして100年後のナタリアのジゼルは絶品、比類無い。

私は『Two Feet』のナタリアのジゼンを観て泣き、そして合点した。

ナタリアは毎日の汗と血と犠牲をもってはじめて人間の域を超えた肉体として舞台上に顕れる。

オリガも然り。毎日流した汗と血と涙と犠牲が、彼女の生きた不条理を浄化し、昇華させた。

この小さな底面積の愛するべき『二つの足』が全てを支え、躍動させ、今日また感動を新たに作る。



ナタリア・オシボワ
Natalia Osipova

ロシア出身のバレエ・ダンサー。ボリショイ・バレエ団、ミハイロフスキー・バレエ団を経て現在英国ロイヤル・バレエ団のプリンシパル・ダンサー(2013〜)。圧倒的なテクニックとドラマティックな表現力に定評があり、レパートリーも多数。中でも『ジゼル』のタイトル・ロールは当たり役とされている。近年はコンテンポラリー作品にも積極的に出演。プノン賞、英国舞踊批評家協会賞など受賞も多数。



メルル・タンカード
Meryl Tankard

オーストラリア・バレエ団を経て、1978〜84年にピナ・バウシュ・ヴッパータール舞踊団の主要ダンサーとして『カフェ・ミュラー』『コンタクト・ホーフ』など出演。1993〜99年にはオーストラリアン・ダンス・シアターの芸術監督を務め、『Furioso』など数々の作品を発表。NDTやリヨン・オペラ座バレエ団に作品を提供するほか、ブロードウェイ作品にも携わっている。



青山真理子
Mariko Aoyama

大阪出身。5歳から西内敏子女史の元でクラシック・バレエの基礎を習得。1970年初頭マリカ・ベソブラゾフ傘下モナコに留学。1974〜2000年ヨーロッパ各地でソリストとして踊る。1983年からマッツ・エックのクルベリ・バレエ、1987年からピナ・バウシュ・ヴッパータール舞踊団に所属。1994年から現在に至るまでバウシュ、勅使川原三郎、エック等のアシスタントを務める。現在も舞台・映画出演、創作のほか、タンカードを始め多くのアーティストとのコラボレーションも続ける。

公演中止

ナタリア・オシボワ／メルル・タンカード
『Two Feet』

9.10(木)・11(金) 19:00
12(土)・13(日) 15:00

彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

[演出・振付]メルル・タンカード
[出演]ナタリア・オシボワ

同公演は新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う海外からの渡航制限解除の見通しがたたないことから残念ながら中止となりました。

公演中止



Photo © Régis Lansac

オリガ・スペシフツェワのジゼル Photo © Boris Lipnitski ©SPUTNIK Alamy Stock



Photo © Jose Caldeira

フランソワ・シェニョー & ニノ・レネ
Romances inciertos
～不確かなロマンス～ もう一人のオーランドー

曖昧であることの自由

来日するたびに日本の観客を魅了するフランスのダンサー・振付家のフランソワ・シェニョーが、アーティストのニノ・レネと創作し、世界各地で称賛を浴びた作品を携え、3度目の来日公演を行う。注目作の内容に迫る。

文 ● 副島 綾 (舞台芸術アドバイザー)



Photo © Laurent Poleo Garnier

フランソワ・シェニョー
François Chaignaud

6歳からダンスをはじめ、2003年パリ国立高等音楽・舞踊学校卒業。その後、ボリス・シャルマツ、エマニュエル・ユイン、アラン・プファール、ジル・ジョバンなど多くの振付家やダンサーとコラボレーションを展開。これまで、ダンスと歌が交差する様々なアイデアを具現化した多様な作品を創作。『不確かなロマンスもう一人のオーランドー』(2017)のような作品では、ダンスにおける肉体的な厳密さ、歌が喚起する力、さらには歴史的な視点で描く世界に立ち上がる身体の可能性を追求してきた。2005年以来セシリア・ベンゴレアと共に『TWERK』、『DUB LOVE』などを世界各国で発表し、高い評価を得る。リヨン・オペラ座バレエ、ピナ・バウシュ ヴェパタル舞踊団などヨーロッパの重要なダンスカンパニーに作品を提供するなど、今注目のアーティスト。

ここ数年はソロ活動を展開し、カウンター・テナーの歌唱方法もマスターしたフランソワ・シェニョー。歴史研究者でもある彼は作品ごとに文献を読み漁り、新たなテクニックを学び、消化し、観客が息を飲む世界を創り出す。そして彼は、ジェンダーを自由に行き来できる稀有なアーティストでもある。日常でもスカートを履いたり、化粧をしていたりすることがあるが、声色を変えているわけでも人工的なものを作るわけでもなく、自分のありのままの姿を彼は生きている。舞台に立つと変幻自在に踊り、目眩のするようなオーラを放って我々を釘付けにする。観客たちは「次の作品が踊り寄りであり、音楽寄りであり、シェニョーが出ていれば見逃すわけにはいかない」と熱狂する。かつてダンス界がみたことのない風雲児が誕生したのである。

15年前だったか、フィリップ・ドゥクフレが「とんでもない新人が登場した!」と興奮して話してくれた。それがフランソワ・シェニョーだった。セシリア・ベンゴレアと作ったデビュー作『ひな菊』は、身体に異物を挿入し、体内の皮膚感覚がダンスに与える影響・歪みを取り上げた作品だった。以来二人は、身体、そして表現者としての精神状態をぎりぎりまで追い込む実験的な作品でダンス界の注目を浴びるようになったのだ。

例えば、ダンサーにとって支えとなる床との接触をあえて取り除いた作品。この空中でのパフォーマンスでは、観客全員床に横たわって鑑賞するものだった。ヴォーキング、トゥワークといったストリート・カ

ルチャーをコンテンポラリーの舞台に取り込んで、公共劇場がNYのアンダーグラウンド・クラブのような興奮に包まれたこともあった。かと思えば、文化的束縛から解放し、自然に回帰することを目的としたフリーダンスの後継者に弟子入りし、ボンビドゥー・センターの舞台上に羊を持ち込んで踊ったこともある。他に、ラテックスの袋に全身を包んで踊るものや、ジャマイカン・ダブの大音響のなか、バレエのトゥシューズでアンバランスな体勢を取る作品などを発表してきた。



Photo © Nino Laisné

神秘的な魔力、特別な開放感

特に今回の『不確かなロマンス』は、彼の名が広く世界に知られるきっかけとなった傑作である。ツアーを経るごとに噂が噂を呼び、アヴィニオン演劇祭・国立シャイヨー劇場ではソールドアウトとなったこの作品は、アーティストで音楽家のニノ・レネと4年の歳月を掛けてリサーチし、共同演出した作品だ。三場構成の舞踊音楽劇なのだが、登場するのは男装して戦場に出た少女戦士、ガルシア・ロルカの詩でも知られるサン・ミゲル(聖ミカエル)、そしてア

ンダルシアのジブシー、タララ。数世紀に渡って音楽・文学で扱われて来たこの三人物の共通点は、その性的両義性である。

本作、副題に「もう一人のオーランドー」とある。ジェンダー研究でも参照されるヴァージニア・ウルフのオーランドーは、目覚めるたびに時代や性別が変わる。場面をつなぐ演奏でオーランドーの睡眠を象徴し、三場それぞれのキャラクターが実は一人の人物だと表わしているのだ。ロマンス(吟遊詩)を奏で歌うことによって、シェニョーは性別を変えながら数世紀に渡る旅に私たちを誘ってくれる。少女戦士では、男性に扮する女性を演じることにより、まるで合わせた鏡を覗き込むような深遠さと強度を体現した。また、彼はこの作品のためにフラメンコを習得したのだが、上半身の形とあえて異なる足遣いを用い、フラメンコでは決して目にしないピンヒールを履いていて、独創的な演出が光っている。我々は、その緊張関係の中でこそ生まれる美しさを目の当たりにする。常に不安定な体勢に自分を置くシェニョーのストイックな姿。彼を通してこれらの登場人物をみると、自分の目指すもののために性別を超えて来た人間の強い意志を感じてしまう。

シェニョーは身体そのものが実験場であると捉えるが、その実験は危険も伴いながらも、自由と可能性にあふれている。そして客席にいる私たちは、決してショーの傍観者ではなく、彼の身体にシンクロしてその自由を体感するのだ。それがフランソワ・シェニョーの神秘的な魔力であり、その場にいるからこそ体験できる特別な開放感なのである。

チケット発売日 一般 9.26(土) メンバーズ 9.19(土)

フランソワ・シェニョー & ニノ・レネ

『不確かなロマンスもう一人のオーランドー』

12.12(土)・13(日) 15:00

彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

[コンセプト・振付]フランソワ・シェニョー

[コンセプト・音楽監督・演出]ニノ・レネ

[出演]フランソワ・シェニョー(ダンス・歌唱)

ジャン・パティスト・アンリ(バンドネオン)

フランソワ・ジュベール=カイエ(ヴィオラ・ダガンバ)

ダニエル・ザビコ(バロックギター、テオルボ)

ペレ・オリヴェ(パーカッション)

チケット(税込) 一般 S席5,000円 A席4,000円

U-25* S席3,000円 A席2,000円 / メンバーズ S席4,500円 A席3,600円

*U-25チケットは公演時、25歳以下の方が対象です。入場時に身分証明書をご提示ください。

※新型コロナウイルス感染症の状況により発売日等の変更や販売席数の制限を設ける可能性がございます。変更の場合は財団ホームページ等でお知らせいたします。

この秋、17年ぶりの来日公演が各地でおこなわれることになっていたクロノス・クアルテット。どの会場も、オーソドックスなクラシック音楽ファンだけでなく、現代音楽や実験音楽、あるいはロックやジャズ、ワールド・ミュージック、テクノといったポップ・ミュージック系のリスナーがカラフルに混在するにぎやかなものになるはずだった。そのような一体感に溢れた祝祭的空間を作り出せる弦楽四重奏団は、世界中でクロノス・クアルテットだけである。グローバル化の一方あらゆる局面での分断化、タコソボ化が進む昨今、クロノスの存在意義と価値はますます高まっていると言っている。

*

私が初めてクロノスのリーダー、デイヴィッド・ハリントンに対面インタビューしたのは2000年だ。当時の最新作は東欧やインドなど非西欧圏の音楽ばかりを演奏した『Caravan (邦題『クロノス・キャラバン』)』だったが、その取材の場では、アルバムで共演したルーマニアのロマ(ジ

プシー)楽団タラフ・ドゥ・ハイドゥークスの柔軟さと音楽的生命力を熱く称賛していたのが強く印象に残っている。そもそもクロノスは早くから、ジャズやタンゴやブルースなどクラシック以外の音楽に積極的にアプローチしていたし、その名が広く世界中にとどろくことになったきっかけも、80年代半ばにジミ・ヘンドリクスの名曲「パープル・ヘイズ」をカバーしたことだ。

1973年にシアトルで結成され、サンフランシスコを拠点に活動するクロノスは、これまでに60タイトル以上のアルバムを発表し、世界中で数千回にも及ぶコンサートをおこなってきた。昨年は2枚の新作をリリースした。1枚は、テリー・ライリーの大曲を取めた『Sun Rings』で、もう1枚はイラン人姉妹歌手マーサ&マルジャン・ヴァーダットとのコラボ作『Placeless』。NASAのボイジャー計画25周年記念作品である前者には「宇宙の音」(電子プラズマの振動音や、電磁波によるドーン・コーラスなど)も取り込まれている。後者は神秘主義詩人ルーミーの

詩などベルシャの古典詩を素材にした作品だ。2018年には、ローリー・アンダーソンとのコラボ作『Landfall』やマイケル・ゴードン(作曲家にしてNYの前衛コレクティヴ、バング・オン・ア・キャンのリーダー)と組んだ『Clouded Yellow』を、2017年にはマリの伝統音楽系グループであるトリオ・ダ・カリとのコラボ作『Ladilikan』や、様々なフォーク系米人シンガーたち(サム・アミドン、ナタリー・マーチャント他)をフィーチャーした『Folk Songs』をリリースしている。ちなみに、今年2月に私がサンフランシスコでクロノスを取材した際にハリントンが着ていたのは、ミスター・バングルのTシャツだった。ミスター・バングルはアメリカのハードコアなミクスチャー・ロック・バンドで、彼もお気に入りなのだという。

かように、音楽ジャンルのみならず人種や国境、宗教や文化などあらゆるボーダーがクロノスの前では無効である。彼らの視界にあるのは、今この世界に生きている我々が聴くべき/演奏すべき音楽のリアリ

ティだけなのだ。その半世紀近くに及ぶ歩みは、“弦楽四重奏の新たな可能性を探求する旅”であり、“人と人、文化と文化をつなぐ架け橋”になることだったと言っている。これまでの活動を振り返りつつ、ハリントンはこう語る。

「私はずっと、音楽家には時代の空気を嗅ぎとり、それをもって人間どうしのコミュニケーションを成立させる責任があるはずだと信じてきた。常に偏見を持たずにあらゆる音に耳を澄まし、自由な想像力を保ち、音楽がその魅力を発揮できるように努めてきた。そこにはいつも、音楽家どうし、あるいは音楽家と聴衆がつながり新しい関係が構築されてゆく可能性が広がっている。私は、素晴らしい音楽によって、周辺にいるすべての人々が一つになることができると信じているんだ」

*

今回中止になった日本公演は、クロノスのこのような哲学を再確認できる絶好の機会になるはずだった。公演予定曲が記載された各会場のプログラムを見ると、テリー

ライリーやスティヴ・ライヒ、ジョージ・クラム等の現代曲から、ジャズやゴスペルやロックの名曲まで、古今東西の音楽が並んでいる。

彩の国さいたま芸術劇場では、なんと「A THOUSAND THOUGHTS」が上演される予定だった。これは、クロノスの半世紀弱の活動を振り返ったドキュメンタリー・フィルム(監督はアメリカの映像作家サム・グリーン)と、クロノスの生演奏、そしてクロノスの傍に控えるサム・グリーンによるナレーションの三つが重なり合う実験的マルチ・メディア・ワークで、日本での実演はもちろん初めてである。私も2月の

取材時にコンサートを観たのだが、音楽と映像と言葉が互いに補完し合い、絶妙にフィードバックする立体的ステージはなんともスリリングであり、まさにクロノスにしか創れない世界だと感嘆させられた。現代アートや演劇、映画などのファンもきっと楽しめるはずだ。

今回は中止になったものの、クロノスの来日公演は遠からずきっと実現すると私は信じている。コロナウイルスは世界の分断化を一段と深めてしまった。だからこそ我々にはクロノスが必要なのだ、今改めて思う。

公演中止

公演中止

クロノス・クアルテット
ライブ・ドキュメンタリー&パフォーマンス

「A THOUSAND THOUGHTS」(日本語字幕あり)

10.2(金) 19:30 彩の国さいたま芸術劇場 大ホール
[出演]デイヴィッド・ハリントン、ジョン・シャーバ(ヴァイオリン)、
ハンク・ダット(ヴィオラ)、サニー・ヤン(チェロ)、
サム・グリーン(監督・脚本・ナレーション)※公演中止に伴うチケット払戻し情報は
財団ホームページを
ご確認ください。

www.saf.or.jp

クロノス・クアルテット 「A THOUSAND THOUGHTS」

今こそ我々にクロノスが必要だ!

弦楽四重奏という古典的な演奏形態で音楽界の最先端を走り続けるレジェンド、クロノス・クアルテット。この秋に17年ぶりに来日する予定だったが、残念ながら公演中止となった。彩の国さいたま芸術劇場で上演するはずだったのは「A THOUSAND THOUGHTS」。約半世紀にわたる活動を描くドキュメンタリー映像とライブ・パフォーマンスを融合した、クロノス・クアルテットならではの作品だ。音楽はジャンルを超え、そして人々は音楽によってひとつになる、そんなクロノス・クアルテットの哲学をご紹介します。

文◎松山晋也(音楽評論家)



クロノス・クアルテットより皆様へ

この秋、日本を訪れ、聴衆の皆さまに再びお会いすることを、私たちはとても楽しみにしていました。日本でのコンサートは私たちにとって特別なものですし、日本で演奏する機会を長いこと逃していたからです。

しかし、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大と、それにより国際間の移動が困難になってしまったため、今回のツアーを延期せざるを得なくなりました。とても残念ですが、近い将来、会場で皆さまにお会いできることを楽しみにお待ちしております。それまでの間、皆さまが健康であり安全であるよう、心よりお祈りいたします。

クロノス・クアルテット

KRONOS QUARTET

アルカンの現実離れた 世界観のあと ショパンを聴くと……?

——シャルル＝ヴァランタン・アルカン (1813～88) は、ショパンと同時代の異色のピアニスト・作曲家として知られていますが、実演で聴く機会はほとんどありません。今回なぜアルカンのピアノ曲を取り上げようと思われたのでしょうか？

アルカンといえば、リストよりもさらに激しい超絶技巧の作曲家としてのイメージが強いですが、今回の演奏会ではアルカンの激しいピアニズムよりもむしろ「静寂」に注目して選曲をしました。

僕がアルカンの音楽に感じるのは、ちょっとグロテスクで現実離れた世界観です——たとえばプロコフィエフの音楽にも共通するような。今回弾く曲ですと、《夢の中で》はすごくきれいな曲なんですが、どこかぞわっとする不気味さがあります。自分の知らない、一歩踏み入れてしまったら戻れないような世界。ただのきれいなロマンティックな曲ではないんです。第1曲目の《波打ち際の狂女の歌》から最後の《荒れ模様》まで小品を15曲お聴きいただきますが、聴き終わったあとにどこか「肌寒い」空気感が残るようなプログラミングにしてみました。



Photo © Taira Tairadate

——アルカンとショパンは、パリで交流があったのですよね？

ショパンがパリでジョルジュ・サンドと住んでいた頃、アルカンも近所に住んでいたため、交流はありました。二人は3歳しか違いませんが、同じロマン主義の作曲家といえども世界観がまったく違います。ショパンは自分自身と対峙した作曲家といえますが、アルカンはどこか現実離れた別の世界を描いているんですね。古楽器でアルカンを弾いた演奏はまだ少ないのですが、モダン・ピアノではなくて、フォルテピアノで弾くことで彼の特異な世界観が引き立てられると思います。

——プログラムの後半では、ショパンの《24の前奏曲》を演奏されます。川口さんにとって、ショパンの創作のなかでどのような位置づけの作品ですか？

僕の中では、《24の前奏曲》はショパンの中でも特に彼という人間を生々しく伝えてくれる作品だと思います。アルカンと並べたときに、「ショパン」というもう一つの独創性が浮き立つものはこれだと思って選びました。今回はアルカンのあとでショパンを聴いていただくので、みなさんがどういうショパンの印象を受けるかちょっと楽しみです。オール・ショパンの演奏会だとショパンだけですが、まったく別の世界観をもっている人間に触れてからショパンに帰ってきたら新鮮な気持ちで聴いていただけるのではないかと思います。後半はショパンにしました。

ブレイエルの音は 「天から降ってくるような感覚」

——ブレイエルのピアノで弾くことによって、ショパンのどんな特色を引き出したのですか？

ブレイエルはショパンがいちばん愛したピアノでした。現代のピアノとはまったく違う音色をもち、ショパンがしばしば求めた「歌唱的でポルタメント [一つの音から次の音へなめらかに移ること] が聴こえてくるような演奏」にもよりうってつけだと思います。つまり人の声が歌っているような音色です。これまでヨーロッパでもいろんなブレイエルを弾いてきましたが、共通して言えるのは、弾いていて音が「天から降ってくるような感覚」になることがあるんですよ。音なんてピアノの内部から出ているのに決まっているのに、ブレイエルを触っているときだけ、天上から音が聴こえてくる感覚になることがあります。きっとそうした音色にショパンも魅せられていたのでしょう。

もちろん当時にタイムスリップしなければ本当の音色はわからないですけど、それがかなわなくても、フォルテピアノは当時にワープできるような感覚になれる楽器だと思っていて、それが古楽器の魅力だと考えています。

——今回演奏されるブレイエルのピアノについてご紹介ください。

ショパンが生きていた1843年に製作された楽器で、タカギクラヴィアの所蔵です。僕はここ数年のショパンの演奏会では

いつもこのブレイエルを使っていて、思い出を積み重ねてきた愛着のある楽器です。

——これからもショパンは川口さんのレパートリーの核であり続けると思います。そのほかには今後どんな作品に取り組みたいですか？

僕がライフワークにしている、画家フランシスコ・デ・ゴヤの生きた18世紀のスペイン音楽を発掘して録音するというプロジェクトは必ず続けていきたいです。その第1弾のCDを2年前に出しました。それから大好きなシュベルトをもっと弾きたいですね。彼は31歳で亡くなりましたが、僕が今31歳なので、今の自分がどう彼の音楽に向き合えるかしばし思いを巡らせてりしています。

——今年は3月以降、コロナ禍で多くの演奏会が中止になってしまったと思いますが、どのようにお過ごしでしたか？

2月末から演奏会のために日本に戻って、この夏にもヨーロッパでも公演を予定していましたが、全部中止になりました。でも、演奏会から少し離れたことは決してつらいことではありませんでした。この期間にいろんな曲についてゆっくり考えたり、録音物をいつも以上にたくさん聴いて人の演奏に刺激を受けたり、じっくり音楽に向き合えてよかったと思っています。

11月の彩の国さいたま芸術劇場でのリサイタルは、今僕がいちばん弾きたいプログラムで、今年もっとも楽しみにしている公演のひとつなので、とても待ち遠しいです。

チケット販売停止

ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.40

川口成彦

(フォルテピアノ)

当時にワープできるような感覚になれる
それがフォルテピアノの魅力

注目の新鋭ピアニストたちが意欲的なプログラムを繰り広げる「ピアノ・エトワール・シリーズ」に、フォルテピアノ奏者が初登場！

川口成彦は、2018年の第1回ショパン国際ピリオド楽器コンクールに第2位入賞を果たした古楽界の新星だ。

今回は、ショパンが愛したブレイエル社製のフォルテピアノをもちいて、

19世紀前半のパリで交流のあった2人の作曲家ショパンとアルカンの作品に新たな光を当てる。

プログラムにかける思い、ブレイエルの特色などについてうかがった。

取材・文 ● 後藤菜穂子 (音楽ライター)



Photo © Juan José Molero Ramos

川口成彦

(フォルテピアノ)

Naruhiko Kawaguchi

1989年生まれ。第1回ショパン国際ピリオド楽器コンクール第2位、ブルージュ国際古楽コンクール・フォルテピアノ部門最高位。フィレンツェ五月音楽祭、「ショパンと彼のヨーロッパ」音楽祭(ワルシャワ)をはじめ欧州の音楽祭にも出演を重ねる。協奏曲では18世紀オーケストラ、[oh!] Orkiestra Historycznaなどと共演。2018年にはロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団のメンバーと共に室内楽形式による協奏曲のリサイタルをオランダにて開催した。東京藝術大学大学院およびアムステルダム音楽院の古楽科修士課程を首席修了。CDは自主レーベルMUSISよりリリースした『ゴヤの生きたスペインより』(レコード芸術・朝日新聞で特選盤)他。2020年はACOUSTIC REVIVEよりショパンの『夜想曲集』がリリースされる。

ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.40
川口成彦 フォルテピアノ・リサイタル

11.3(火・祝) 15:00

彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

[曲目]

アルカン：波打ち際の狂女の歌 作品31-8
幻影 作品63-1
ないしょ話 作品63-9
初めてのラブレター 作品63-46
夢の中で 作品63-48
荒れ模様 作品74-10 ほか

ショパン：24の前奏曲 作品28

[使用楽器]ブレイエル(1843年 タカギクラヴィア所蔵)

チケット(税込) 一般 正面席3,600円

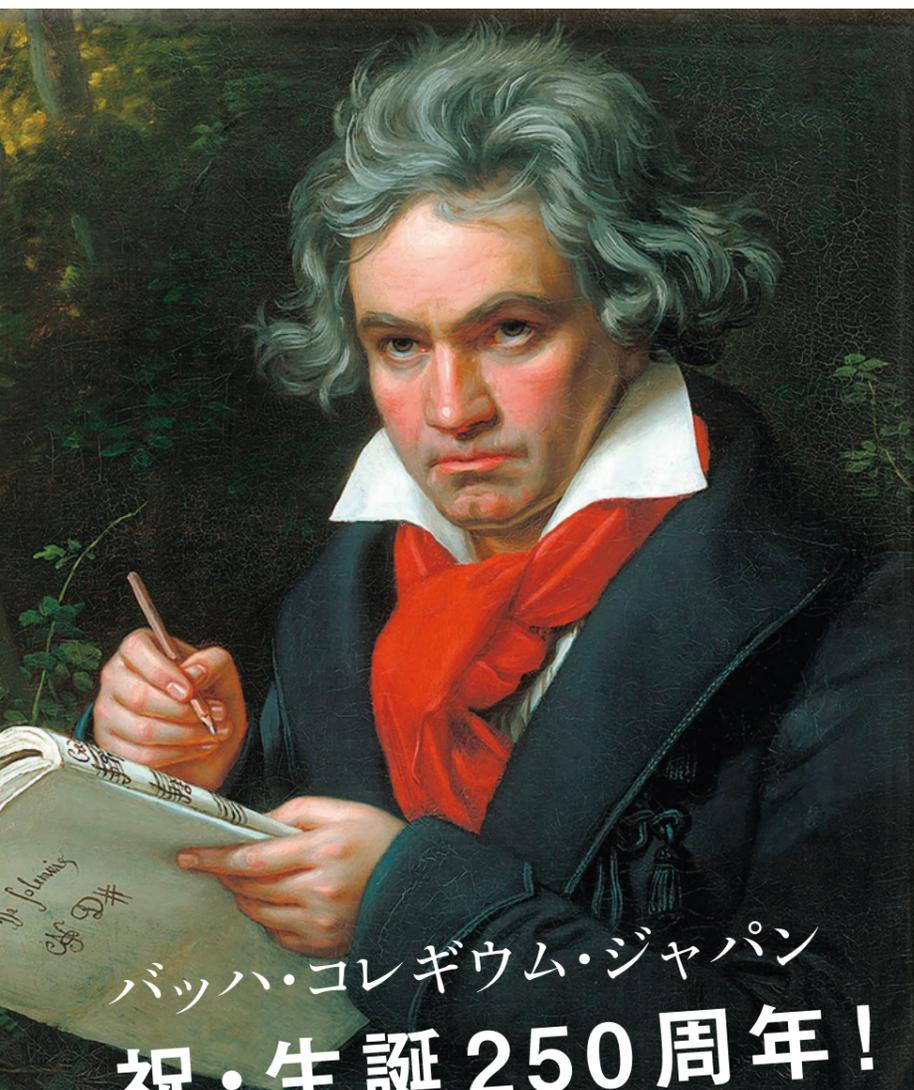
メンバーズ 正面席3,300円 バルコニー席2,600円

U-25*(バルコニー席対象)1,000円

*U-25チケットは公演時、25歳以下の方が対象です。入場時に身分証明書をご提示ください。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、当公演チケット販売を当面の間見合わせることをいたしました。販売に関して決定次第、財団ホームページ等でお知らせいたします。

2020年、ベートーヴェン生誕250周年のベートーヴェン・イヤーに彩の国さいたま芸術劇場では世界的な古楽アンサンブル、バッハ・コレギウム・ジャパンによるベートーヴェン・プログラムの演奏会をお贈りする。音楽に詳しい人もそうでない人もその名を知っているクラシック音楽の作曲家、それがベートーヴェン。「運命」や「第九」のメロディは誰もが耳にしたことがあり「耳が不自由だった」というエピソードも有名だ。では、なぜベートーヴェンが有名なのか。それは「すごい人」だから。ベートーヴェンの何がすごいのか、そのヒミツに迫る!



バッハ・コレギウム・ジャパン

祝・生誕250周年!
ベートーヴェンのココがすごい!

文 ● 飯尾洋一 (音楽ライター)



Photo © Marco Borggreve

鈴木雅明
(指揮)

Masaaki Suzuki

1990年「バッハ・コレギウム・ジャパン (BCJ)」を創設して以来、バッハ演奏の第一人者として名声を博す。グループを率いて欧米の主要なホール、音楽祭に多く出演、極めて高い評価を積み重ねている。近年はモダン・オーケストラとも活発に共演し、多彩なレパートリーを披露。2001年ドイツ連邦共和国功労勲章功労十字小綬章、平成23年紫綬褒章など受賞。2012年バッハの演奏に貢献した世界的音楽家に贈られる「バッハ・メダル」、ロンドン王立音楽院・バッハ賞を受賞。2013年度第45回サントリー音楽賞をバッハ・コレギウム・ジャパンと共に受賞。2015年ドイツ・マインツ大学よりゲーテンベルク教育賞を受賞。イエール大学アーティスト・イン・レジデンス、シンガポール大学ヨシ・シウ・トウ音楽院客員教授、神戸松蔭女子学院大学客員教授、東京藝術大学名誉教授、オランダ改革派神学大学名誉博士。



Photo © 横田敦史

バッハ・コレギウム・ジャパン (合唱&管弦楽)
Bach Collegium Japan

鈴木雅明が世界の第一線で活躍するオリジナル楽器のスペシャリストを擁して結成したオーケストラと合唱団。バッハの宗教作品を中心としたバロック音楽の理想的上演を目指し、日本国内のみならずライプツィヒ・バッハ音楽祭、BBCプロムス、カーネギーホール、コンセルトヘボウ等、活発な演奏活動を展開。1995年から時系列順で取り組んできた「バッハ：教会カンタータ全曲シリーズ」が2013年2月に全曲演奏・録音を完遂し、2014年「ヨーロッパのグラミー賞」と称されるエコー・クラシック賞エディトリアル・アチーブメント・オブ・ザ・イヤー部門を受賞。2013年度第45回サントリー音楽賞を鈴木雅明と共に受賞。2017年7月には「バッハ：世俗カンタータシリーズ」全曲演奏・録音が完了。2017年9月『モーツァルト：ミサ曲 八長調』が権威ある英国の音楽賞グラモフォン賞を受賞。

発売日調整中 ※決まり次第お知らせします

ベートーヴェン「運命」とハ長調ミサ曲

11.29 (日) 15:00 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

[出演] 鈴木雅明(指揮)、レイチェル・ニコルズ(ソプラノ)、マリアンネ=ペアーテ・キアラント(アルト)、櫻田 亮(テノール)、加来 徹(バス)

[曲目]
ベートーヴェン生誕250周年記念
交響曲第5番 八短調 作品67 「運命」
ミサ曲 八長調 作品86

チケット(税込) 一般 正面席 9,000円 バルコニー席 8,000円
U-25*(バルコニー席対象) 3,000円 / メンバーズ 正面席 8,500円

*U-25チケットは公演時、25歳以下の方が対象です。入場時に身分証明書をご提示ください。
【関連レクチャー】11月21日(土) BCJ音楽監督鈴木雅明による作品解説レクチャー開催予定。

フリーランスばんざい!
「働き方改革」を成し遂げた先駆者

今年、ベートーヴェンの生誕250周年。全世界的にベートーヴェンで盛り上がるべく、クラシック音楽界は何年も前から準備を進めていた。

なのに、このウイルス禍だ。ベートーヴェンどころではない。いったん、あらゆるコンサートがなくなってしまった。タイミングが悪かったというほかに、しかし今からでも遅くはない。ベートーヴェンの力強くドラマティックな音楽は、音楽界の再開を祝うにふさわしい。逆襲のベートーヴェン祭がこれから始まるのだ。ベートーヴェンは音楽界にとって特別な作曲家だ。

そもそもベートーヴェンはなにがそんなに特別なのか。

もちろん、それは作品が偉大だから。特大級の傑作がそろっている。でも、それは曲を聴かなければわからない。曲を聴いていない人にもベートーヴェンがいかに特別な作曲家かを伝えたいときは、よくこんなふうに説明している。

「ベートーヴェンはだれにも雇われずにフリーランスとして生計を立てた史上初の大作作曲家」

かつて作曲家は宮廷や教会に雇われるのが常だった。勤め人として雇い主から求められて曲を書いていたのだ。たとえばバッハがドイツ各地を転々としていたのは、よりよい雇用条件を求めて転職を繰り返したから。ワイマールからケーテンの宮廷に転職する際などは、雇い主の意に反して退職を強硬に主張したため、1か月も牢屋に入れられてしまった(ああ、ブラック企業……もといブラック宮廷)。貴族から見れば大作作曲家も使用人にすぎない。

その点、ベートーヴェンは違う。彼はどこの組織にも所属せずに、個人の才覚で生計を立てた。サラリーを受け取るのではなく、フリーランスとして活躍したのだ。

じゃあ、ベートーヴェンはどうやって収入を得ていたのか。コンサート活動や楽譜の出版からの収益もあったが、最大の収入源はスポンサーからの年金だ。複数の有力貴族たちがベートーヴェンの才能を認めて、決まった金額を払ってくれた。これは才能の証明というほかに、最低限の収入が保証されていれば、クリエイターは思う存分、創作活動に打ち込める。さらばブラック宮廷。昨今、日本でも「働き方改革」が叫ばれ、多様な労働形態に注目が集まっ

ているが、ベートーヴェンは18世紀末に音楽界の「働き方改革」を成し遂げた先駆者だった。出来高払いではなく、サブスクリプション・モデル。そう考えると、なかなか今風の収益モデルだ。

「苦悩から勝利へ」の
人間ドラマ「運命」
神との対話の《ミサ曲 八長調》

さて、この11月、バッハ・コレギウム・ジャパンが鈴木雅明指揮のもと、ベートーヴェンの2曲を演奏する。曲は「運命」の通称で知られる交響曲第5番と《ミサ曲 八長調》の2曲。

「運命」はおそらくクラシック音楽の代名詞といってもよい名曲だろう。「ジャジャジャジャー」で始まる冒頭はあまりに有名だ。全4楽章からなるこの交響曲には明確なストーリーがある。「苦悩から勝利へ」「暗から明へ」。言葉のない音楽なので、どこにもそう書かれているわけではないのだが、音楽そのものが雄弁な物語性を持っている。苦しい戦いを経て、最後は勝利に至る。「友情・努力・勝利」は「少年ジャンプ」の三大原則だが、ベートーヴェンの「運命」にも似た香りが漂う。音楽的に言えば、最

初の「ジャジャジャジャー」は八短調という深刻ぶったキーで始められるが、最後はハ長調という明快なキーで曲を閉じる。

そして、もう一曲が、《ミサ曲 八長調》。そう、「運命」で到達したハ長調の世界が、引き継がれるのだ。ただし、こちらは合唱も入る宗教曲。趣はぐっと異なる。「運命」が人間個人のドラマを描いているとすれば、《ミサ曲 八長調》は神との対話である。実はベートーヴェンは「運命」と《ミサ曲 八長調》を同時期に書いている。天才の最盛期といってもよい時代に書かれた世俗曲と宗教曲。この演奏会では、そんなベートーヴェンのふたつの顔に触れることになる。

演奏するバッハ・コレギウム・ジャパンは、日本が世界に誇る古楽アンサンブル。本場ヨーロッパにおいても、その業績は高く評価されている。バッハをはじめとするバロック音楽をレパートリーの中心とするバッハ・コレギウム・ジャパンにとって、ベートーヴェンは新しい時代の音楽だ。現代から振り返る過去の作曲家ベートーヴェンというよりは、バッハの時代から下った未来の音楽としてのベートーヴェンをわたしたちに体験させてくれることだろう。

彩の国シェイクスピア講座 番外編

『リア王』勉強会 & 上映会開催決定

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、今年2月に上演した彩の国シェイクスピア・シリーズ第35弾『ヘンリー八世』は終盤4公演が中止となり、6月に上演を予定していた第36弾『ジョン王』は全公演中止を余儀なくされました。

公演は中止となってしまいましたが、シェイクスピアの世界を皆様にお楽しみいただきたいとの思いから、この度「彩の国シェイクスピア講座」番外編として、『リア王』勉強会を開催することとなりました。講師に松岡和子(翻訳家)と河合祥一郎(東京大学教授/日本シェイクスピア協会会長)の両氏を迎え、対談形式で『リア王』の魅力や存分に語ります。また、2008年に上演し好評を博した、彩の国シェイクスピア・シリーズ第19弾『リア王』公演の上映会も行います。

シェイクスピア四大悲劇の一つである傑作に、蜷川幸雄は演出家人生の中で4度向き合っており、そのこだわりある作品世界の集大成は必見。最初に蜷川が『リア王』を手がけたのは1975年日生劇場、当時32歳の松本白鸚(当時市川染五郎)がリアを演じました。1991年は東京のグローブ座で、能をイメージしたシンプルな演出(主演津嘉山正種)。1999年から2000年にかけては、彩の国さいたま芸術劇場と英国ロイヤル・シェイクスピア・カンパニーとの合作で、英国人俳優が出演しました(唯一の日本人として真田広之が道化で出演)。

そして4度目が、今回上映される2008年平幹二郎版。老王の深い怒り、悲しみ、狂気を、圧倒的な存在感で表現し、観客の目を釘付けにしました。3人の娘たちに内山理名、とよた真帆、銀粉蝶、生命力溢れるグロスター伯爵に吉田鋼太郎、王の家臣ケント伯爵に瑠川哲朗……と豪華出演者が勢揃い。役者たちによる確かな演技、力強く立ち上がる物語。蜷川シェイクスピアの真髄を味わえる作品でしょう。



彩の国シェイクスピア・シリーズ第19弾『リア王』(2008年上演) Photo ©渡部孝弘



講師の松岡和子(右)、河合祥一郎(彩の国シェイクスピア講座Vol.3『ヘンリー八世』徹底勉強会より)

チケット発売日 一般 8.16(日) メンバーズ 8.15(土)

彩の国シェイクスピア講座 番外編 『リア王』勉強会

[日時] 9.13(日) 14:00~15:40
 [会場] 彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール
 チケット(税込) 全席指定
 一般・メンバーズ 1,200円 / U-25* 600円
 ※勉強会後半(14:55~15:40)のみ、財団公式YouTubeチャンネルにて無料ライブ配信を行います [9月22日(火・祝) 23:59までアーカイブ配信]。

チケット発売日 一般 8.16(日) メンバーズ 8.15(土)

彩の国シェイクスピア・シリーズ第19弾 『リア王』上映会 [協力] ニナガワカンパニー、ホリプロ

[演出] 蜷川幸雄
 [作] W. シェイクスピア
 [翻訳] 松岡和子
 [出演] 平 幹二郎、内山理名、とよた真帆、銀粉蝶、池内博之、高橋 洋、瀧野俊太、山崎 一、吉田鋼太郎、瑠川哲朗 ほか
 [日時] 9.21(月・祝) 13:00、22(火・祝) 13:00 (上映時間213分、途中10分間の休憩あり)
 [会場] 彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール
 チケット(税込) 全席指定
 一般・メンバーズ 前売1,800円 当日2,000円
 U-25* 前売1,300円 当日1,500円

*U-25チケットはご来場時、25歳以下の方が対象です。入場時に身分証明書をご提示ください。
 ※当日券は残席がある場合のみ販売いたします。
 ※新型コロナウイルス感染症の状況により販売席数の制限を設ける可能性があります。変更の場合は財団ホームページ等でお知らせいたします。

大ホール 小ホール 音楽ホール 映像ホール 情報プラザ = 彩の国さいたま芸術劇場 埼玉会館 = 埼玉会館

※新型コロナウイルス感染症の影響により変更の可能性がございます。ご来場の際は必ずお電話または財団ホームページ等で開催状況をご確認の上、お越しください。

	DANCE	MUSIC	EVENT	CINEMA	
8月					1 土
2 日			2 11:00 / 14:00		2 日
3 月					3 月
4 火					4 火
5 水					5 水
6 木					6 木
7 金					7 金
8 土					8 土
9 日			9 11:00 / 14:00		9 日
10 月・祝					10 月・祝
11 火	休館日(彩の国さいたま芸術劇場)				11 火
12 水					12 水
13 木					13 木
14 金					14 金
15 土					15 土
16 日					16 日
17 月					17 月
18 火					18 火
19 水					19 水
20 木					20 木
21 金					21 金
22 土					22 土
23 日					23 日
24 月					24 月
25 火					25 火
26 水					26 水
27 木					27 木
28 金					28 金
29 土					29 土
30 日					30 日
31 月					31 月
9月					1 火
2 水					2 水
3 木					3 木
4 金					4 金
5 土					5 土
6 日					6 日
7 月					7 月
8 火					8 火
9 水					9 水
10 木					10 木
11 金					11 金
12 土					12 土
13 日					13 日
14 月					14 月
15 火					15 火
16 水					16 水
17 木					17 木
18 金					18 金
19 土					19 土
20 日					20 日
21 月・祝					21 月・祝
22 火・祝					22 火・祝
23 水					23 水
24 木					24 木
25 金					25 金
26 土					26 土
27 日					27 日
28 月					28 月
29 火					29 火
30 水					30 水
10月					1 木
2 金					2 金
3 土					3 土
4 日					4 日
5 月					5 月
6 火					6 火
7 水					7 水
8 木					8 木
9 金					9 金
10 土					10 土
11 日					11 日
12 月					12 月
13 火					13 火
14 水					14 水
15 木					15 木

TICKETS チケット

大ホール 小ホール 音楽ホール 映像ホール = 彩の国さいたま芸術劇場 埼玉会館 = 埼玉会館
*U-25チケットは公演時、25歳以下の方が対象です。入場時に身分証明書をご提示ください。

※新型コロナウイルス感染症の影響により変更の可能性があります。
ご来場の際は必ずお電話または財団ホームページ等で開催状況をご確認の上、お越しください。

PLAY

発売日 一般 8.29(土) メンバーズ 8.22(土)

彩の国さいたま寄席 四季彩亭
令和元年度 彩の国落語大賞受賞者の会
三遊亭鬼丸

10.31(土) 14:00 小ホール

[出演] 三遊亭鬼丸(彩の国落語大賞・2席)、
林家二楽(ゲスト・紙切り)、林家けい木 ほか
チケット(税込) 全席指定 一般 3,200円
ゆうゆう割引(65歳以上・障がい者) 2,100円
メンバーズ 2,700円

※新型コロナウイルス感染症の状況により販売席数の制限を設ける可能性がございます。変更の場合は財団ホームページ等でお知らせいたします。

発売日 一般 9.5(土) メンバーズ 8.29(土)

『かがみ まど とびら』 推奨年齢4歳以上

11.22(日)・23(月・祝)・28(土)・29(日)

彩の国さいたま芸術劇場 NINAGAWA STUDIO(大稽古場)

各日11:30/15:00(各8回)

[作・演出] 藤田貴大

[音楽] 原田郁子 [衣装] suzuki takayuki

[出演] 伊野香織、川崎ゆり子、成田亜佑美、長谷川洋子

チケット(税込) 全席自由

大人(19歳以上) 2,500円、子ども(2歳以上) 1,000円

※2歳未満の臉上鑑賞は無料(保護者1名につき、お子さま1名まで)。

DANCE

発売日 一般 9.26(土) メンバーズ 9.19(土)

フランソワ・シェニヨール&ニノ・レネ

『不確かなロマンス

—もう一人のオーランド—』 詳細はP.8-9

MUSIC

販売中

埼玉会館ランチャイム・コンサート第44回

上野耕平(サクソフォン)

8.27(木)12:10(終了予定13:00)

埼玉会館 大ホール

[出演] 上野耕平(サクソフォン)、高橋優介(ピアノ)

[曲目] J. S. バッハ: G線上のアリア

高橋優介: ロマンスとロンド

ミヨール: スカラムーシュ ほか

チケット(税込) 全席指定 1,000円

※客席における社会的距離を確保するため、使用する席数を通常の半数程度に減らしています。
※入場時の混雑・集中を避けるため、開場時間を通常より早い11:10にしています。

販売停止 ※決まり次第お知らせします

ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.40

川口成彦 フォルテピアノ・リサイタル

詳細はP.12-13

発売日調整中 ※決まり次第お知らせします

バッハ・コレギウム・ジャパン

ベートーヴェン『運命』とハ長調ミサ曲

詳細はP.14-15

発売日 一般 10.4(日) メンバーズ 10.3(土)

埼玉会館ランチャイム・コンサート第45回

NHK交響楽団ホール・アンサンブル

12.7(月)12:10(終了予定13:00)

埼玉会館 大ホール

[出演] 今井仁志、福川伸陽、石山直城、勝俣 泰、

木川博史、野見山和子

チケット(税込) 全席指定 1,000円

EVENT

発売日 一般 8.16(日) メンバーズ 8.15(土)

彩の国シェイクスピア講座 番外編

『リア王』勉強会&上映会 詳細はP.16

チケット購入方法

インターネット



埼玉県芸術文化振興財団
オンラインチケット

SAFオンラインチケット
で、発売初日10:00から
公演前日23:59まで
受付いたします。



【PC・携帯共通】
https://www.ticket.ne.jp/saf/

メンバーズ 登録のご住所へ無料配送

一般 ①クレジットカード決済
または②コンビニ支払い ③コンビニ発券

※チケット代他に、店頭発券手数料(チケット1枚につき120円)が必要です。

電話予約

チケットセンター 0570-064-939

10:00～19:00(彩の国さいたま芸術劇場休館日を除く)

※一部の携帯電話、PHS、IP電話からは受付できません。

メンバーズ 登録のご住所へ無料配送

一般 ①コンビニ支払い ③コンビニ発券

※チケット代他に、店頭発券手数料(チケット1枚につき120円)が必要です。
※コンビニ支払い後にチケット配送も承りますが、チケット代のはかに配送料(配送1件につき400円)が必要です。

窓口販売

彩の国さいたま芸術劇場・埼玉会館窓口(10:00～19:00)

で直接購入いただけます。電話予約したチケットの
引取もできます(メンバーズは登録のご住所への配送となります)。
※休館日をお確かめの上、ご来場ください。

メンバーズ ①口座引落

一般 ①現金または
②クレジットカード決済

その場で
チケットを
お渡しします。
※手数料は
かかりません。

チケット不正転売防止について

◎当財団主催公演チケットは、財団の同意なく有償で譲渡することを禁止いたします。

◎当財団が直接販売する主催公演のチケットは、購入者の氏名及び連絡先を確認した上で販売いたしております。

CINEMA

彩の国シネマスタジオ

【全席自由・各回入替制・整理券制】

大人1,100円 学生550円(入場時に学生証をご提示ください)

※料金は当日現金支払いのみ

※客席における社会的距離を確保するため、使用する席数を通常の半数程度に減らしています。また、ご来場の際は、必ずお電話または財団ホームページ等で開催状況をご確認の上、お越しください。

8.27(木) 埼玉会館 小ホール

『イーディ、83歳 はじめての山登り』

(2017年/イギリス/102分)

[監督・脚本] サイモン・ハンター

[出演] シーラ・ハンコック、ケヴィン・ガスリー、

ポール・ブラニガン、エイミー・マンソン、ウェンディ・モーガン ほか



© 2017 Cape Wrath Films Ltd.

9.17(木)～19(土) 映像ホール

『私のちいさなお葬式』

(2017年/ロシア/100分)

[監督] ウラジーミル・コト

[脚本] ドミトリー・ランヂヒン

[出演] マリーナ・ネコロワ、アリーサ・フレインドリフ、

エヴゲーニール・ミローフ、ナタリア・スルコワ、

セルゲイ・ブスケバリス ほか



© 000 KinoKlaster, 2017.

※7月に予定しておりました彩の国シネマスタジオ「今さら言えない小さな秘密」、「少女は夜明けに夢をみる」は中止となりました。

発売延期のお知らせ

8月に発売を予定しておりました音楽公演

「ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.41 ジャン・チャクムル ピアノ・リサイタル」、
「イレブン・クラシックス Vol.2 波多野睦美&高橋悠治」は発売日を変更いたします。
決まり次第、財団ホームページ等でお知らせいたします。予めご了承ください。

【謹告】

クロノス・カルテット ライヴ・ドキュメンタリー&パフォーマンス

「A THOUSAND THOUGHTS」公演中止のお知らせ

2020年9～10月に予定しておりました「クロノス・カルテット JAPAN 2020」(日本ツアー)は、世界的な新型コロナウイルス感染拡大による渡航制限、及び出演者や関係者・お客様の健康へのリスク回避のため、大変残念ではございますが中止することになりました。

この日本ツアーの中止に伴い、10月2日(金)に予定しておりましたクロノス・カルテット ライヴ・ドキュメンタリー&パフォーマンス「A THOUSAND THOUGHTS」につきましても、中止とさせていただきます。

ナタリア・オシポワ/メルリ・タンカード

『Two Feet』公演中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う海外からの渡航制限解除の見通しがたたないことから、9月10日(木)～13日(日)に予定しておりました「ナタリア・オシポワ/メルリ・タンカード『Two Feet』」公演の開催をやむなく中止することいたしました。なお本公演につきましては現在、延期の可能性を検討しております。

公演を楽しみにお待ちいただいていたお客様には、大変なご迷惑をお掛けして誠に申し訳ございませんが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団

※新型コロナウイルス感染症の影響により変更の可能性がございます。最新の情報は財団ホームページをご確認ください。



www.saf.or.jp

サポーター会員

(公財)埼玉県芸術文化振興財団は、演劇、ダンス、音楽を中心に、この劇場でしか見られない最高の作品を提供できるよう、作品づくりに努めています。

こうした財団の活動にご理解、ご支援をいただいているのがサポーター会員の皆様方です。(2020.7.15現在/一部未掲載)

㈱与野フードセンター/㈱亀屋/㈱松本商会/㈱香山壽夫建築研究所/埼玉新聞社/埼玉りそな銀行/㈱パシフィックアートセンター
㈱アサヒコミュニケーションズ/FM NACK5/㈱タムロン/㈱十万石ふくさや/森平舞台機構㈱/東芝ライテック㈱/埼玉トヨタ自動車㈱
武蔵野銀行/ロイヤルバインズホテル浦和/アルピーノ村/国際照明㈱/埼玉スバル/㈱佐伯紙工所/㈱太陽商工/㈱しまむら/不動産㈱
ビストロ やま/埼玉県信用金庫/㈱栗原運輸/彩の国SPグループ/㈱ブラネッツ/㈱デサン/セントラル自動車技研㈱/丸美屋食品工業㈱
ポラスグループ/ひがし歯科/埼玉トヨペット㈱/公認会計士 宮原敏夫事務所/㈱埼玉交通/サイデン化学㈱/アイル・コーポレーション㈱
旭ビル管理㈱/ヤマハサウンドシステム㈱/㈱エヌテックサービス/㈱クリーン工房/㈱つばめタクシー/㈱サンワックス/㈱総合舞台
(一財)さいたま住宅検査センター/㈱国大グループホールディングス/TAプラットフォーム㈱/イープラス/ (医)榎会 林整形外科/埼玉県整形外科医会
(医)山粋会 山崎整形外科/サンケイリビング新聞社/㈱三和広告社/ショッパー/㈱松尾楽器商会/日本大学芸術学部/㈱ホンダカーズ埼玉
㈱杉田電機/丸茂電機㈱/太平ビルサービス㈱さいたま支店/㈱片岡食品/㈱協栄/㈱ヨコハマタイヤジャパン/NTT東日本 埼玉事業部
㈱平和自動車/光陽オリエントジャパン㈱/さくら Music Office/クワバラ・パンぷキン/東和アークス㈱/テレビ埼玉/日本ビストンリング㈱
金井大道具㈱/国立大学法人 埼玉大学/㈱七越製菓/ビーンズ与野本町/㈱コマーム/㈱原一探偵事務所/川口信用金庫/青木信用金庫/㈱和幸楽器
大栄不動産㈱/相川宗一/㈱ハイデイ日高/浦和大学/三井隆司/大和証券㈱/AGS㈱/ウォータースタンド㈱/㈱ワイイーシーソリューションズ
白神久吉/医療法人青木会/むさし証券/三菱UFJモルガン・スタンレー証券㈱/ポートピア岡部・栗橋/中央税務会計事務所/トヨタカローラ埼玉㈱
放送大学埼玉学習センター/GARO DAYHAPPY/㈱有村紙工/(医)たかだクリニック/SMBC日興証券㈱/㈱アステック/㈱ジェイコムさいたま
㈱ヤナセ/トヨタカローラ新埼玉㈱/浦和興産㈱/㈱村松フルート製作所/東武商事㈱/東和銀行/㈱喜多山製菓/埼玉ダイハツ販売㈱
(医)大宮シテイククリニック/埼玉田中電気㈱/㈱細井技研

お問合わせ (公財)埼玉県芸術文化振興財団 サポーター会員担当 TEL.048-858-5507

彩の国さいたま芸術劇場



〒338-8506 埼玉県さいたま市中央区上峰 3-15-1

電話:048-858-5500(代) ファックス:048-858-5515

●電車でのアクセス

JR埼京線与野本町駅(西口)下車 徒歩7分

●バスでのアクセス

JR京浜東北線北浦和駅から西武バス大久保行き

「彩の国さいたま芸術劇場入口」下車 徒歩2分

埼玉会館



〒330-8518 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-1-4

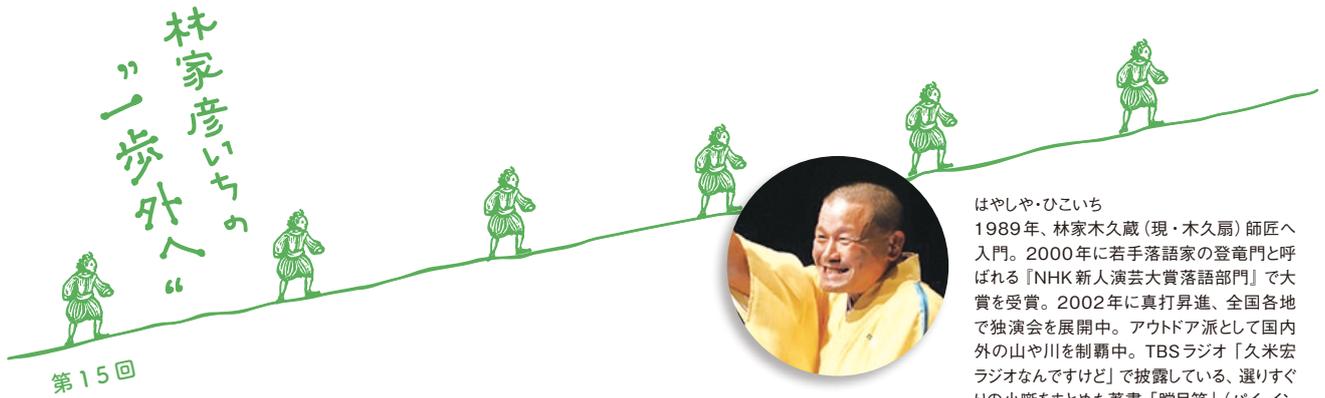
電話:048-829-2471(代) ファックス:048-829-2477

●電車でのアクセス

JR宇都宮線・高崎線・京浜東北線・湘南新宿ライン

浦和駅(西口)下車 徒歩6分

※駐車台数に限りがありますので、ご来場の際はなるべく公共交通機関をご利用ください。



はやしや・ひこいち
 1989年、林家木久蔵（現・木久扇）師匠へ入門。2000年に若手落語家の登竜門と呼ばれる『NHK 新人演芸大賞落語部門』で大賞を受賞。2002年に真打昇進、全国各地で独演会を展開中。アウトドア派として国内外の山や川を制覇中。TBSラジオ「久米宏ラジオなんですけど」で披露している、選りすぐりの小噺をまとめた著書「瞳目笑」（パイ インターナショナル）が発売中。

13年9カ月の“一歩外へ” 久米宏さんとのラジオ

文と写真 ● 林家彦いち

座布団から離れ「一歩外へ」のお仕事もやらせてもらっている。その一つにラジオ番組がある。最初にちょっとだけ出演したのは、まだ前座の時だった。

着物姿ではなく、落語もやらずに、パーソナリティーの方に聞かれたことを一生懸命喋っていたらお金もらっちゃった……という思い出。それ以来これまで、ちょこちょこと出演させてもらっている。

2006年から毎週出演している番組がTBSラジオ「久米宏のラジオなんですけど」だ。久米さんとの顔合わせ時は「あっ、本物だ」という印象だった。5年目を迎えたころ、当時のプロデューサーに「当日のメッセージテーマで、短い落語やるなんてどうでしょう？」と誘われた。毎週短い噺を創作。

久米さんと剥き身で向かいあい、物語や風刺の言葉を投げる企画だという。困った。噺家がラジオ番組に出る時には、マクラや落語界のしきたりなどを喋ることが多い。いわゆるありネタである。

リスクしかないが、小さなプライドはとっとと脱ぎ捨て向かい合うことにした。

考えてみたらやりがいしかない。ぶつかってゆけばよいのだ。「もう一歩外へ」だ。愛想笑いはなく、面白いと「ひゃひゃああ！」と笑う。だんだん、こういうのを喜んでいるのかなあ……と落語会のお客様と似たものを感じ始めた。そうなりとリスナーさんからもメッセージが届くようになった。

前日までに創ればよいのだが、なんとなく考えていても当日



十数年、毎週土曜日、久米宏さんに噺をぶつける

現場でなんだか違うということになる。だからと言ってノープランでは大怪我をする。寄席に似ている。寄席も楽屋入りをして袖から見るお客さん、そしてその日の演者さんの演目を見て自分のネタを決める。

その「久米宏ラジオなんですけど」が先日13年9カ月をもってお開き。もちろん私のコーナーもおしまい。ミスター軽妙脱の久米さんが自分の進退を自分で決めて去っていく。最後までかっこいい。「噺家さんは年老いて味になるからいいんだよ……」と言っていたので当日は、80歳の彦いちが幕引する噺。最後に体が若返り50代の現実の彦いちになるというSF。フィクションとノンフィクション。

サゲは「夢のような時間を……ゆめひろし！ 言い過ぎ？ 胡蝶（誇張）の夢」とシメた。これはいいサゲ！と思ったら、「えっとどういう意味ですか！？」。

「えっとですね、それは……」とサゲを説明しずつこけるといような大きなサゲを久米さんにつけてもらってお開き。

一歩外には夢のような時間があった。

YouTube
 公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団 公式チャンネル
<https://www.youtube.com/SAFtheaterchannel>

Facebook
 彩の国さいたま芸術劇場 @saitamaartstheater
 埼玉会館 @saitamakaikan

Twitter
 演劇担当 @Play_SAF
 舞踊担当 @Dance_SAF
 音楽担当 @Music_SAF
 埼玉会館 @saitamakaikan

Instagram
 埼玉会館 @saitamakaikan



www.saf.or.jp

埼玉アーツシアター通信 第88号(2020年8月-9月)

2020年8月1日発行(隔月1日発行)
 発行人：加藤容一
 発行：公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団
 〒338-8506 さいたま市中央区上峰3-15-1
 TEL.048-858-5500